

おかげさまで、今年もピオーネの収穫を無事に迎えられることを感謝しています。ピオーネの成長に振り回され、焦ってハラハラドタバタと過ぎていくシーズンでした農園の様子をどうぞご覧ください。

ブルーベリー園よりぶどう園を望む

## 油断大敵のぶどう栽培



摘粒と同時に筆で花カス落とし

今年も昨年と同じように春先から低温が続き、平年より18日早い梅雨入りなどで、成育が遅かった去年よりもさらに2~3日遅れ気味。間延したのや、湾曲した花穂が多く、房づくりに悩まされたう

えに、6月の開花前の天候不良で灰色かび病が発生し、花穂に被害を受けました。

開花後は粒も急に大きくなっていきました。そこで大変だったのが、摘粒(粒間引き)。広い園内をまわり、一房、一房、形を作りながら粒を間引いていくのですが、園を半分くらい回った頃には、米粒大だったピオーネの粒がコイン大になり、中でおしあいへしあいをして、つまっているものも多くありました。こうなるとハサミを入れるのが一苦勞。時間も手間も普通の倍以上かかります。その後平年より13日早い梅雨明けがあり、炎天下、粒がつまり過ぎてカチカチになってしまった房を前に、心が折れそうになりながら、なんとか摘粒を終えることができました。

ぶどうの成育は、始めの頃は遅れてもその後の天気しだいで一気に追いつき例年通りになるようです。

今年の教訓…「油断大敵! ぶどうは一気に加速する」。

## アルミ下駄登場

農業をしていると、他では見ること使わない道具に出会うことがあります。ぶどう棚の下で作業するとき、嫁には背伸びをしても手の届かない所がたくさんあり、ハンドル付のアルミの踏台を使っています。乗っては降りての毎



アルミ下駄で摘粒作業

で膝がガクガクだとぼやいていました。ある日知人が使っていたアルミ下駄(高さ18cm)を発見しさっそく購入。最

初はバランスをくずして緊張していましたが、だんだん慣れてきた様子。ちょうど目の高さにはぶどうの枝が来るので、見上げるたびに感じた首のしんどさからも解放され、仕事もらくになったと喜んでます。

## 優秀賞を受賞しました



表彰式にて

昨年の秋、岡山県ニューピオーネ共進会(コンテスト)に出品したところ、思いがけず優秀賞をいただきました。岡山県うまいくだものづくり推進本部主催で3年に一度開催。出品点数は176点で房形、果皮色、果粒の大きさ、糖度、食味等を審査員が項目別に採点基準に基づき審査します。11月にくら

## 今年はブルーベリー豊作?

昨年は鳥に食べられた?ようであまり収穫できなかったブルーベリー。「今年は防鳥ネットを張るぞ!」と棚の図面を描いたり、業者の人と打合せをしたりしたのですが、段取りに手間取り、ぶどうの仕事も忙しかったので結局時間切れで張れませんでした。そんなことで今年はあまり期待してなかったのですが、あら不思議。完熟の実が結構残されています。鳥の鳴き声はするし、一部に実が無くなっている所はあるのですが、気づいてないのでしょうか?。おかげで、順調に収穫することが出来ました。

ぶどうの作業がほぼ終わった8月、久しぶりにブルーベリー園で草刈りをしました。休憩の時、目の前の熟した実を5~6粒、一気に頬張ったときのおいしかったこと…「んまっ!」と思わず声が出ました。



ラビットアイ系ブルーベリー